

# 委員会の焦点

～委員会審査報告から～

## 交流センター連絡通路 市道認定へ 経済建設委員会

経済建設委員会に付託された議案は、決算案件6件、条例案件2件、事件案件2件、予算案件3件で、慎重審査の結果すべて原案の通り認定又は可決されました。

平成20年度一般会計決算認定について  
交流センター連絡通路建設事業に伴うものについて

質疑が集中し、なぜ今の時期に市道認定が必要か、理由は何かとの質問に対し、県との協議を前提として、今の時点で市道認定をする必要がある。来年7月オープンを考えると、今の時期に協議しなければ間に合わない。また建設時期を本体工事と合わせ橋脚等と外構工事と連携するため、今としたとの説明がありました。



市民交流センター連絡通路は  
大門市営駐車場の3階につながる

## 広丘東保育園建設へ 福祉教育委員会

福祉教育委員会に付託された議案は、決算案件4件、条例案件1件、事件案件5件、予算案件2件の計12件で、慎重審査の結果すべて原案の通り認定又は可決されました。



10月から工事が始まる  
広丘東保育園建設予定地

広丘東保育園建築主体工事請負契約の締結については、8特定建設工事共同企業体による一般競争入札であり、2

億9千925万円で橋詰・野沢特定建設工事共同企業体が落札したとの説明がありました。  
また、少人数学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する請願は、採択とし国等へ意見書を提出することとしました。

## 平成20年度決算認定 総務環境委員会

総務環境委員会に付託された議案は、決算案件6件、条例案件5件、事件案件3件、予算案件4件で、慎重審査の結果すべて原案の通り認定又は可決されました。

収支状況として、単年度収支が4年ぶりに黒字となった。平成18年度の豪雨災害復旧以来、基金に頼る財政運営をしてきたが、一応この状況から脱却でき、また財政の健全化法に基づく健全化判断比率の判断項目の状況もいずれも適正の範囲内であり、経済不況の中にあつて、比較的良好的な財政運営ができたとの説明を受けました。



委員会では財政運営について  
詳細な説明を受けた

の度の市税二重引き落としにかかる不祥事に対し、行政職員の職責を質したり、庁舎内での接遇の態度等、人事管理や職員研修のあり方等に対する質疑や意見が出されました。  
また廃棄物の位置づけや産廃の問題点、税の滞納整理や不納欠損処理に対する問題点等多くの質疑が交わられました。